

※意見交換の内容は要約しています。  
(太字は参加者の意見、細字は市長の応答です。)

## 【意見項目】

- 1 日新公民館の建て替えについて
- 2 天祐寺川の護岸について
- 3 水路の浚渫について
- 4 空き家対策について
- 5 六座町の道路改修について
- 6 地域活動の後継者確保について
- 7 地域住民が集う場所の確保について
- 8 神野公園について

## 【意見交換内容】

### 1 日新公民館の建て替えについて

日新公民館が建てられてから、だいが年数が経ちます。駐車場も狭いです。公民館の移転計画や改修などを検討されているか教えてください。

(市長)

この公民館は、昭和63年に建設されて36年経過し、いろいろご不便を感じていらっしゃると思います。

現在、公民館の第2次整備計画に基づき、昭和56年以前に整備した公民館について、新耐震基準で整備を進めている状況です。耐用年数が迫っている公民館から順次改修しており、日新公民館も改修の候補として今後検討してまいります。

駐車場の確保が課題だということもお話いただきました。今後の計画を検討する中で、駐車場をできる限り確保できるように考えていければと思っています。

### 2 天祐寺川の護岸について

日新公民館前の市道沿いにある天祐寺川の護岸についてです。公民館の100メートルほど北側に護岸されていないところがあります。

そこは、昔は大木が護岸の機能を果たしていましたが、過去の台風の影響で木が痛み、枝が折れるなどしたため伐採されました。

現在は、大木を失い護岸機能がない状況で、道路にも亀裂が入り、どんどん広がっています。この道路は一方通行なので、道路が崩れると公民館にも行けなくなり、大変なことになります。それだけではなく、その北側の排水路にも影響が出ます。

道路の亀裂がこれ以上広がり、大きな災害につながることはないよう、早く護岸をしていただきたいです。専門家の方にも判断していただき、早急に対応していただければありがたいです。

(市長)

川の護岸がされておらず、いろんな危険が生じるのではないかというお話ですね。私も現地を確認させていただき、対応を検討したいと思います。

### 3 水路の浚渫について

地区内の水路や農業用水路に土がたまり、草が生えています。排水効果と貯留効果のためにも土の浚渫をお願いしたい。

河川掃除では土の除去までは難しく、草の伐採までしかできません。地区内には水路の管理費用の予算しかないので、市で予算化できないでしょうか。

(市長)

まずは、「川を愛する週間」で清掃活動に毎年ご協力いただいていることに、本当に感謝申し上げます。

そうした中で、高齢化が進んでいたり、若い方の参加が年々減ってきていたりすることで、負担が増えてきている状況があると思います。

この清掃活動は 44 年続いていて、全国でも大変驚かれるすばらしい取組です。今後、この取組をどういう形で維持していけるのかということで、企業や事業者の方、学校などの皆さんにご協力いただき、その協力の輪を広げていきたいと考えています。今、そうしたパートナー企業として 47 件にご登録をいただいています。

また、浚渫のご要望は各校区からいただいていますので、こうしたご要望を本市が取りまとめて、繁茂の状況や流水阻害の状況を見させていただいたうえで、優先度なども踏まえて対応しています。なるべくご要望に応じられるように取り組んでいきます。

### 4 空き家対策について

地区内に空き家や 1 人暮らしの高齢者の家が増えています。

庭の木が繁っているのを伐採してほしいとお願いしても、高齢者には対応することが難しいです。その家の親戚や関係者に伐採してほしいと言ってみましたが、県外など遠方におられて、対応してもらえませんでした。

市から所有者の方に対応するように促してもらえないでしょうか。我々が「お願いします」と言っても、近隣の方なので後のことを考えると、言いにくいときもあります。

台風のときは危ないので、市の空き家対策室から所有者の方に連絡してもらいましたが、所有者の方は対応されませんでした。対応してもらえるようお願いしたいです。

(市長)

本市の空き家は年々増えてきています。佐賀市内で 3,000 件ほどの空き家があり、これも大きな課題だと考えています。

当然危険になった空き家の対応も必要ですが、危険になる前の段階で、空き家の相続に悩まれている方もいます。そういう皆さんの相談窓口を今年度から充実させています。

それから、空き家を「活用」していくことにも取り組んでいきたいと思っています。

民間の専門家による相談対応や、リフォームするときの補助などを、今年度から新たに設けていますので、多くの皆さんに関心を持っていただきたいと思います。

空き家については、令和 5 年に民法が改正され、緊急の場合や所有者が対応しない場合に限られますが、空き家から越境している部分の枝を伐採できることになりました。法的にも整備されてきているので、いろんな手法を使って、問題の解決につなげていきたいと思います。

## 5 六座町の道路改修について

日新公民館から北に行ったところからさらに奥に入る道は、入るところに電柱があって、溝の上に段差もあるため、自動車の進入が困難になっています。緊急車両が入ってくる際は、4、5 回切り返しています。10 年ほど前に、河川砂防課や道路整備課にお願いしましたが、話が進みませんでした。長崎街道を補修する際に一部の段差は解消できましたが、再度お願いします。また、長崎街道と県営六座町団地間の水路をつぶして、子どもの通学路にできないでしょうか。六座町の細い道は制限速度が 20 キロですが、20 キロを超えて運転している人が多いです。安全のために道路を広げることにはできないでしょうか。ご検討いただければありがたいです。

(市長)

六座町の一方通行で不便を感じておられるかもしれません。

また、通学路の関係で車両のスピードも危ないとのことですので、私も改めて現場を見させていただきたいと思います。

## 6 地域活動の後継者確保について

地域活動の後継者について、自治会長やほかの役員のなり手がいません。

市の職員さんたちには、定年後で構いませんので、率先して役員になっていただきたいです。そのためにも、日頃から地域に関心を持っていただきたいと思います。

協働推進課で 2 年ごとに職員さんを対象にアンケートをされていますが、令和 5 年度で約 5 割の方が地域行事に参加していないと回答されていました。

昨日は「日新ライトファンタジー」を行いました。他にも「日新祭り」や「文化祭」、日頃の「川掃除」なども地域行事だと思います。それらに職員さん方が参加していただくと、住民の皆さんと顔見知りになって、ゆくゆくは定年退職後に役員になってもよいと思いやすくなると考えます。

職員さんが、地域活動支援員の役割を担っていただき、地域に関心を持っていただくように、研修などの際に促していただけないでしょうか。

そのためにも地域活動の休暇制度を設けるなどの取組も必要と思います。今の 30 代から 50 代の方が日頃から関心を持っていただくと、その方々が 60 代、70 代になった際に、地域活動の担い手になり得るのではないのでしょうか。

(市長)

地域と関わりを持つことは、とても大事だと思います。

毎年の市役所の新採研修では、一人二役、一人三役ということで、地域に入っていくことを意識してほしいということ、市民のモデルになるような職員を目指そうということを私から伝えていきます。

地域行事に子育て世代が参加しにくい状況もあると思います。その課題が何なのか探りながら、次の世代が参加してつないでいくことも大切ですので、職員にもその意識づけをしていきたいと思えます。祭りや河川清掃などの地域行事に取り組めるように啓発や意識づけをしていきます。

## 7 地域住民が集う場所の確保について

川原町内には地域の皆さんが気軽に集まれる場所が少なく、現在は集会所もありません。高齢者が多いため、この日新公民館も遠く感じられ、集まるのが難しい状況です。集会所を地域で持つのは難しいので、みんなが集まって、自由に使えるような場所ができれば良いなと思っています。

(市長)

自治公民館などの気軽に集まれる場所ができないかということですね。

自治公民館であれば、市にも建物を改修するときの補助制度を用意しています。もし可能であれば活用していただきたいと思います。

どのような形で気軽に集まることのできる場を実現できるのかということについて、皆さんからお話を聞きながら、前向きに考えていきたいと思っています。何かありましたら、公民館支援課などにもおっしゃっていただければと思います。

## 8 神野公園について

伊勢町から多布施川沿いを神野公園まで毎朝歩いていて気付いたことがあります。道沿いの蛍光灯が何本か切れかけていて、真っ暗になっています。神野公園まで歩いている女性の方と話をした際に、朝が暗くて怖くて歩いていけないと言われていました。また、多布施川のそばにいろんな木の枝や種がたくさん落ちていて、見た目も悪く、川の流れにも影響すると思いますので、何かの折に確認していただきたいと思います。それと、神野公園が新しくなるということですので、「公園」と「人間」が一体となるような形にしてほしいと思います。いろんな世代の方が公園に親しみながら公園そのものを楽しめるように、公園を利用されている方のご意見を聞きながら、参考にさせていただきたいと思います。

(市長)

神野公園を歩いてみたら、薄暗く感じる部分があったり、小動物園やトイレが老朽化していたり、あと猫も多かったりと、何か明るい雰囲気じゃないと感じる部分もあるかもしれません。

神野公園再整備検討委員会の中でも、利用者や市民の皆さんからのご意見を踏まえながら、様々な検討を進めてきました。

鍋島直正公の歴史はもちろん、明るくて、自然が豊かで、きれいな公園を目指していけるように考えていきたいと思っています。